

# & Seig

No.  
**61**  
Jun. 2023



巻頭特集

## 紡ぐ 想

聖学院創立120周年特別対談

元女子聖学院校長  
小倉義明先生  
×  
女子聖学院卒業生・ギタリスト  
村治佳織さん

先生の思い出  
共に歩む人

各校・園  
同窓会紹介

● 理事長メッセージ

● 新任教職員の紹介

関係団体の皆さんにインタビュー  
支える人たち  
株式会社ヨシザワ



140th Anniversary of the  
Disciples' mission to Japan

### CONTENTS

#### 01\_ 巻頭特集 紡ぐ想い

聖学院創立120周年特別対談  
小倉義明先生(元女子聖学院校長) ×  
村治佳織さん(女子聖学院卒業生・ギタリスト)

#### 03\_ & Talk

#### 07\_ 先生の思い出 共に歩む人

- 07\_ 聖学院中学校・高等学校
- 08\_ 聖学院小学校
- 09\_ 聖学院幼稚園
- 10\_ 聖学院みどり幼稚園
- 11\_ 聖学院大学
- 12\_ 女子聖学院短期大学

#### 13\_ 聖学院各校・園 同窓会紹介

#### 15\_ 理事長メッセージ

#### 17\_ 新任教職員の紹介

#### 19\_ ASF事務局からのご報告

#### 21\_ 聖学院創立120周年記念オリジナル スプラウトペンシル プレゼントの お知らせ

#### 22\_ Seig NEWS

#### 27\_ 2023年、学校法人聖学院は創立120周年

関係団体の皆さんにインタビュー

#### 29\_ 支える人たち [株式会社ヨシザワ]

120年の轍を歩む

#### 39\_ 聖学院歴史探訪 [EPISODE #21]



ディサイプルス派宣教師、ジョージ・T・スミス夫妻、チャールズ・E・ガルスト夫妻来日

1883

東京築地に女子聖学院  
創立(初代院長:バーサ  
F・クローソン)

中里幼稚園(現:聖学院  
幼稚園)創立(初代園長:  
A・W・ブレース)

1912

1905

1903

ハーヴェイ・H・ガイ博士  
が文京区本郷に聖学院  
神学校設立

1906

聖学院中学校創立  
(初代校長:石川角次郎)



#### ASF NEWS No.61 アンケート

QRコードからあなたの声をお聞かせください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で10名様に「聖学院120周年記念オリジナルコースター」をプレゼント!いただいたご意見は、編集の上、本誌にてご紹介させていただきます。



- 有効回答期間  
2023年6月22日～2023年8月21日
- 当選発表  
当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



本アンケートに関するお問い合わせ  
聖学院広報センター Tel 03-3917-8530

編集/学校法人聖学院 広報センター  
デザイン/株式会社キュー・ジー  
発行日/2023年6月16日

聖学院創立120周年

# 紡ぐ「想い」

人生におけるほんの数年、教育の場として共に過ごした子どもたちと教師が、卒業後も強い絆でつながっている。聖学院にはそういう卒業生とのつながりが数多くあります。その後の人生の指針となった価値観、支えとなった言葉。その絆ができる過程には、お互いに影響し尊敬し響き合ったエピソードがあるのではないのでしょうか？聖学院の歴史を紡ぐ出会いのストーリーをご紹介します。



聖学院創立120周年

2023

1996

聖学院大学大学院創立  
(初代大学院長:安倍北夫)

聖学院大学創立(初代  
学長:金井信一郎)

1988

1978

女子聖学院短期大学付  
属幼稚園(現:聖学院み  
どり幼稚園)創立(初代  
園長:W・G・クレーラ)

女子聖学院短期大学創  
立(初代学長:小田信人)

1967

1960

女子聖学院小学部(現:  
聖学院小学校)創立(初  
代校長:小田信人)

# &Talk

特集 紡ぐ想い

高校卒業まで6年間  
女子聖学院で他の生徒と一緒に学んだこと  
それが今日の村治佳織さんの視野や  
人間関係の広さにつながっています。  
村治さんがプロのギタリストとしての活動と  
学校生活を両立できた背景には  
小倉義明先生の、村治さんへの理解と支えがありました。

聖学院創立120周年特別対談

元女子聖学院校長

小倉義明先生

×

女子聖学院卒業生・ギタリスト

村治佳織さん





おぐら よしあき  
小倉 義明

東京神学大学大学院修了。教会の伝道師・副牧師を経て、1972年～1984年女子聖学院短期大学学長、1984年～2008年女子聖学院中学校・高等学校長、2000年以降聖学院幼稚園長、聖学院小学校長、学校法人聖学院副院長兼務。2007年～2012年学校法人聖学院長。他に、キリスト教学校教育同盟常任理事、全国高等学校長協会常務理事、東京女子教育懇話会会長、東京神学大学講師、日本基督教団使徒教会牧師、アジアキリスト教教育基金(ACEF)理事長等を歴任。



むらじ かおり  
村治 佳織

幼少の頃より数々のコンクールで優勝し、15歳でCDデビューを果たす。フランス留学から帰国後、ソロ活動やN響ほか国内主要オーケストラ及び欧州のオーケストラとの共演も多数重ねる。2003年英国の名門DECCAレーベルと日本人初の長期専属契約を結ぶ。第5回出光音楽賞、村松賞、第9回ホテルオークラ音楽賞、日本ゴールドディスク大賞を2回など受賞歴多数。2017年よりJ-WAVE「RINREI CLASSY LIVING」のナビゲータを4年間務めた。テレビ、ラジオなどメディア出演も多数。2021年5月公開の吉永小百合主演映画「いのちの停車場」のエンディングテーマを作曲・演奏。

聖学院各校には音楽や芸術、芸能の分野で活躍する卒業生が数多くいます。世界的ギタリストの村治佳織さんもその一人です。村治さんは女子聖学院中学校・高等学校（以下、女子聖学院）の卒業生で、中学生の時にすでに様々な音楽コンクールで優勝し、プロとしてデビューもしていました。進むべき道が明確である分、学校生活との両立など普通の中高生が経験しない苦労もあったのではないのでしょうか。そんな村治さんを理解し支えたのが当時女子聖学院の校長をされていた小倉義明先生でした。卒業後も家族ぐるみで交流が続いた村治さんと小倉先生。お二人に、当時を振り返っていただきます。

### 卒業まで女子聖学院で導くと決めた小倉先生の覚悟

**村治** もう何年前になるでしょうか？私が入学したのは。

**小倉** 30年くらい前ですかね。今でも忘れられないのは、村治さんのギターの指導者であった福田進一先生（※1）に、村治さんの今後について相談をした時のことです。あなたが中学生の時、音楽コンクール優勝を果たした後、音楽コンクール優勝を果たした後、村治さんがこのまま女子聖学院にいても良いのかお聞きしたので。女子聖学院はどんな生徒でも特別扱いしません。村治さんにはギターを練習

する時間が必要なのに、女子聖学院にいれば他の生徒と同じように一般的な学業にも時間を取られます。両立するのはとても大変なことです。すでに開花した才能を足止めしてはならないと私はずっと思っていました。そのことを福田先生にお尋ねしたので。

**村治** そうだったんですね。

**小倉** すると福田先生は「ぜひ女子聖学院で勉強を続けさせてください」とおっしゃいました。「ひとたび音楽の世界に入ると、ひたすら音楽だけになり、人間関係も狭くなります。せめて佳織さんには中学高校といろいろな人と触れ合い、友だちとの時間を作ってほしい。それが人間としての基礎経験になりますし、今しかできないことなのですから」と。私はそれまで村治さんにとって何が最良の選択か思案していましたが、福田先生のお言葉で覚悟が決まりました。

**村治** 先生同士でそういう話し合いがあったんですね。私はギターとは別に、学校は学校として頑張れたと思っています。それはやはり一生徒として学校に通えたことが大きかったと感じています。今のお話を聞いて、その背景には小倉先生の覚悟があったんだと知りました。また福田先生がおっしゃったように卒業後は音楽関係の方との交流が多くなりました。それでも私が音楽一辺倒にならず、広い視野や人間関係を保っているのは、卒業まで女子聖学院に通ったことも大きく影響

しています。ちなみに女子聖学院を選んだのも、一番成長する15〜16歳の時に受験勉強に時間をとられないようにという父の配慮がありました。私は父を含め、周囲の方に本当に恵まれていたと感じています。

### 女子聖学院で培われた

#### 感謝の気持ち

**村治** 女子聖学院で身につけたことの一つに、感謝の気持ちがあります。私はよく「恵まれている」、「感謝する」という言葉を使います。それは女子聖学院で、聖書や朝の礼拝を通してキリスト教の精神をシャワーのように浴びてきたからだと思います。また母からも「感謝を大切にしろ」とよく言われていました。キリスト教精神と母の教えがうまく組み合わさって、今の私の一部を作っているのだと思います。信仰は別として、10代でキリスト教精神に触れ、6年間一つの教えを受けるといえるのは人生において非常に大きなことでした。

**小倉** 10代の経験は人生の基礎的な部分に大きな影響を与えます。それだけに教育に携わっている私たちには非常に責任があると感じています。

**村治** またキリスト教教育ということで印象に残っているのは、大人が一つの信仰をもって頭を下げる姿です。校長先生は学校のトップというイメージを持っていましたが、その校長である小倉先生で



小倉先生が大切にコレクションしていた様子がわかります



村治さんがこれまでに小倉先生に贈られたCD。それぞれの年代ごとのエピソードに花が咲きました

さえ頭を下げる存在があるのだと知り、驚きました。神様の前では学校の先生であつても一人の人間なのだと感じた場面でもありました。

### 生徒一人ひとりを理解し、ベストを模索してくれる学校

**村治** 私の学年は、和楽器をお父上から継いで演奏家になった方や、ダンスを頑張っている方、スポーツライターになられた方など、一つの才能を突き詰める人たちが多かったと記憶しています。そういう人たちを特別扱いせず、しかし一定の理解を示す。小倉先生がそういうスタンスを作ってくれたから、私たちも個性を生かせたのだと思います。

**小倉** 女子聖学院は伝統的に個性を尊重する学校ですから、私だけというわけではありませんが、学校の特徴を生かして個性を伸ばしてあげたいという思いがありました。

**村治** 私、修学旅行に行っていないんですよ。修学旅行は5日間くらいの日程で、当時はひどい風邪でもひかない限り5日もギターを弾かないということはありませんでした。一つのを極めることと学校生活を成立させることの難しさをその時実感しました。

**小倉** 芸術家として生きていくことの厳しさや内面的なコンフリクト（葛藤）を、村治さんはあの歳ですでに経験しつつあったということですね。

**村治** 修学旅行に関して、学校の先生方が、ギターを持っていくことを許可するか、許可したとして旅先の雰囲気の中で本当に練習できるのか、楽器の管理はどうするのかなど様々な議論してくださいました。特別扱いしないけれども理解を示すというのはこういうことなのだろうなと思います。そして芸術、音楽に理解がある小倉先生のような方が身近にいてくださるのは本当にありがたいかったです。



**小倉** 音楽の話になると際限がありませんが、私は村治さんの演奏が大好きです。村治さんが交響楽団をバックに演奏したバッハを、濱田滋郎さんという音楽評論家の方が絶賛していました。「村治佳織はクラシックの世界にギターの地位を確立した」と。実際村治さんの演奏を聴くと、練習に練習を重ねたからこそ到達できる技術と、それをベースにした繊細さが伝わってきます。その繊細な音の中に、一生懸命探求した末に見つけたであろう奥行きのある音を感じます。

**村治** ありがとうございます。在校時代もこうやって褒めていただいていた。前回お会いしてから10年くらい経ちますが、こうしてお話しさせていただけと、在校当時と何も変わらない空気

がありますね。卒業して10年くらいは定期的に家族ぐるみでお食事させていただいたり、コンサートに来ていただいたりしていましたし、女子聖コンサート（※2）に呼んでいただいて2年に一度はチャペルで演奏もしていました。

### 橋骨神経麻痺と、それを支えてくれた聖書のことは

**小倉** 私はあなたが手指の病気で大変悩まれたときのことをよく覚えていますが。

**村治** 橋骨神経麻痺（手首や指を動かしにくくなる病気）の時ですね。小倉先生がすぐにご連絡くださって、会いに来て励ましてくださいました。

**小倉** ギタリストとしてはとても辛い時期だったと思います。

**村治** 本当に先生の励ましと共にいただいた聖句に支えられました。

**小倉** 村治さんがそのことを、昨年NHKの番組で語っておられたのを拝見しました。

**村治** 10年以上前、日経新聞の連載でも書かせていただきました。

**小倉** 贈った聖句は、神様が試練と同時に逃れる道をも備えてくださっているという御言葉です。これは慰めに満ちた深い言葉だと思っています。とはいえ多くの人は、そのまま聞き流してしまします。この聖句を心に留め受け止められたのが、村治さんの感受性の素晴らしいところだと思います。

村治 先生は聖句と共に生きていらっ  
しゃいます。だからこそ先生のお言葉  
が私の心に響いたのだと思います。

小倉 こんな立派な卒業生を持つとは  
予想だにしていまませんでした。福田先  
生が「彼女は別格ですよ」と太鼓判を  
押ししていました。

村治 恐れ入ります。この3月31日デ  
ビューから30周年を迎えることができ  
ました。中2から中3の春休みにリサ  
イタルを開催し、10人ぐらい女子聖学  
院の同級生が来てくれたことを覚えて  
います。30周年を迎えて「30年間どう  
ですか？」とよく聞かれますが長いと  
も短いとも感じられません。不思議な気  
持ちですね。

小倉 先生が聖学院に関わられていた  
期間はどれくらいのですか？

小倉 女子聖学院短期大学で12年、女  
子聖学院中高で24年。学校法人全体に  
関わらせていただいて副院長と聖学院  
幼稚園の園長、聖学院小学校長も兼務  
しました。合わせて40年。私は幼稚園  
から大学まで教えた唯一の教師です。

村治 もう聖学院のレジエントです  
ね。この対談を読んでいる卒業生の皆  
さんに、小倉先生は雰囲気は全く変  
わってませんよということ声を大に  
してお伝えしたいです。

### これからの女子聖学院に 期待すること

村治 生けるレジエントとしてぜひお

聞きたいのですが、今後の女子聖学  
院にどんなことを期待されますか？

小倉 やはり変わらない部分と変わる  
部分があると思います。変わらない部  
分はキリスト教精神に基づく人格教育  
です。これはずっと大事にしていって  
ほしいです。変わるべきところとい  
うか変わっていくであろうところは、隣  
に男子の聖学院中高がある中で女子  
教育のあり方だと思います。思春期を  
女子だけで過ごすことには重要な意味  
があります。そこ  
は大切にしつつ男  
女と一緒にできる  
ことでもあると思う  
ので、柔軟であつ  
たら良いと思つて  
ます。



村治 確かに社会に出れば男女問わず  
いろいろな人と出会えるわけですが  
ら、同性としつかりと信頼関係を作る  
時期があつても良いと思います。

小倉 先日、男子と女子、両方の宗教  
委員が合同で私に聖学院の歴史を話し  
てほしいと依頼してくれました。本  
当に良い計画だと思います。こうい  
う動きが出てきたら、いち早く育ててい  
くべきですし、その工夫をすべきです  
ね。

村治 未来を感じられるとても明るい  
お話をうかがえました。であれば卒業  
生同士も交流したいですね。男子に  
は講師の神田伯山さん<sup>(\*)3</sup> やバン  
ドネオン奏者の小松亮太さん<sup>(\*)4</sup> が

いらつしゃいます。昔はほとんど交流  
がなかったように思います。私の在校  
時、お昼休みにフェンス越しに男子と  
話している生徒が「その人たち離れ  
なさい」ってスピーカーで注意されて  
いるのが聞こえました(笑)

小倉 同じ駅、同じ通学路を通ってい  
た者同士が、お互いそれぞれの場所で  
頑張っているという話が卒業後もでき  
ると良いですね。

村治 そうですね。今日お会いできて  
私も小倉先生とのご縁を結び直した感  
じがします。この冊子も卒業生と母校  
との縁を結び直すものになりますよう  
願っています。

(取材日/2023年5月)

※1 クラシックギター奏者。バリ・エコー・ノルマ  
ル音楽院を首席で卒業。1981年バリ国際ギターコ  
ンクール優勝。平成19年度外務大臣表彰。平成  
20年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。上海音楽  
院、大阪音楽大学、広島エリザベト音楽大学、昭和音  
楽大学客員教授。

※2 女子聖学院で1986年から毎年開催されて  
いたPTA主催のコンサート。

※3 講師、六代目神田伯山。2007年11月  
三代目神田松鯉に入門し、2020年2月真打昇進  
と同時に六代目神田伯山襲名。持ちネタの数は15  
年を180を超え、独演会のチケットは即日完売。講  
談普及の先頭に立ち活躍している。

(出典：六代目神田伯山オフィシャルサイト  
<https://www.kandahakuzan.jp/profile/> 出典より  
抜粋)

※4 バンドネオン奏者。1998年CCDテレビ  
コンクール・イン・TOKYO2002がアールセンチ  
ンで高く評価され、2003年にはアルゼンチン音楽  
家組合(AADI)、ブエノスアイレス市音楽文化管理  
局から表彰。2015年、大貫妙子との共同名義ア  
ルバム「Tint」は、第57回輝く！日本レコード大  
賞「優秀アルバム賞」を受賞。洗足学園音楽大学客員  
教授。  
(出典：小松亮太公式サイト <https://ryotakomati-sune/> 出典より抜粋)

### 小倉先生から村治さんに 贈られた聖書のことば

「あなたがたの会った試練で、世の常でないものはない。  
神は真実である。あなたがたを耐えられないような試練に  
会わせることはないばかりか、試練と同時に、それに耐え  
られるように、のがれる道も備えて下さるのである。」  
コリント人への第1の手紙10章13節(口語訳聖書)

### 村治佳織さん コンサートのご案内

#### 第16回 すみだクラシックへの扉

7月7日(金)/7月8日(土)  
会場：すみだトリフォニーホール  
ギター：村治佳織

# 共に歩む人

「紡ぐ想い」

## ●先生の思い出

聖学院中学校・高等学校

いくたなおこ  
生田直子  
先生

## ●PROFILE

理科教諭、進路指導副部長。  
日本大学文理学部卒業、名古屋  
大学大学院理学研究科大気水  
圏科学専攻修了。  
1991年4月、聖学院中高入職。

何事に対してもやるとなったら本気を出してやる

— 生田先生の初担任クラスの卒業生からお手紙をいただきました。当時のお話などお聞かせいただけますか？

私が聖学院中高で初めて担任を持ったのは1993年の高校1年生のクラスでした。2年生の1月から産休と育休で休んでいるので、実際は2年も担任することができなかつたのに、こうして手紙をいただくことをとてもうれしく思います。当時は高校からの入学組があつて、その内の1クラスを私が担任しました。彼らは新入生で私も初担任。教員と生徒というよりも一緒にクラスを作っていく仲間、同士であるという意識があり、彼らもそう感じてくれていたのだと思います。このクラスに限らずですが、組長、副組長とは毎週必ずミーティングの場を持つようになりました。良いクラスにするためには、教員の視点だけでなく、生徒同士の視点が必要ですよ。そして生徒に責任と裁量を与えることで、自主性が育まれます。

— 体育祭が卒業生の印象に残っているようですが「応援」というより「鼓舞」とい

うのが生田先生らしいと思いました。

体育祭では「私のクラスは勝つと決まっているから」とあらかじめ生徒に話しました。私は常に本気で勝ちにいていました。生徒たちは優勝するために丸となりました。しっかりと戦略も練りました。何事に対してもやるとなったら本気を出してやる、徹底してやる、やり抜く、楽しむ、というのが、いつも私が生徒たちに言ってきたことです。体育祭に限らず記念祭やその他の行事にも全力で取り組んでくれていました。

— 最後に手紙の卒業生を含む卒業生のみなさんに向けて「メッセージ」をお願いします。

「出る杭は打たれる」と言いますが、出過ぎた杭は打たれません。打たれないくらい高い杭になれば良いのです。しかし決して、愛と感謝を忘れてはいけません。愛と感謝を持ち、出る杭になる！そして、徹底的にやる！卒業生のみなさんは私の誇りです。みなさん一人ひとりの活躍を楽しみにしています。

(取材日/2023年5月)



体育祭で優勝して胴上げされる生田先生。



記念祭のクラス企画では「喫茶店」や「お化け屋敷」が人気。写真は1993年のクラスの喫茶店。

## 卒業生から生田先生への手紙

私は高校からの外部生クラスで、生田先生との出会いは、先生が初担任を受け持った1年B組でした。入学当初、私たち生徒も緊張していましたが、初担任ということもあり先生も張り切っていた半面、少し緊張もしていたように思います。私はB組の組長でクラスをまとめる立場だったため、先生とは毎週放課後によく話し合いをしましたね。クラスに何か問題はないか、悩み事を抱えている生徒はいないか、また生徒たちの関係性など、個性的な生徒が多かったのが先生も多々苦労したのではないかと思います。私にはクラスや生徒一人ひとりを大切にする先生の熱心が今でも忘れられません。体育祭の時には、学年優勝に向けてクラスが一致団結をしました。先生も我がクラスを優勝させようと一生懸命応援をしてくれました。ちょっと力を抜いている生徒を見つかるや否や、黄色い声援とは程遠い「〇〇、もっと力入れて走れ～」という鼓舞だったと記憶しています。





「この窓からの風景が好きなんです」と関先生

# 共に歩む人

「紡ぐ想い」

## ●先生の思い出

### たくさんの方に見守られたアットホームな小学校

— 関先生が聖学院小学校に入職された頃のことを聞かせてください。

私が初めて聖学院小学校に来たときは、学校の敷地内の門のところの家があつて用務の方とその家族が住まわっていました。公立の学校でも、すでに学校に人が住むことがなくなつていた時代でしたので驚きました。たくさんの方に見守られているとてもアットホームな雰囲気の小学校だと思いました。

旧校舎は最上階にチャペルがあり、天井まで窓ガラスでもとても明るくて、そして子どもたちの讚美歌がとても上手だったという記憶があります。

男子児童が少ない時代が長く、学年に7、8名しかいないという状況でしたが今は男子が増えて、女子の方が少ない学年もあります。

— どんな行事が印象に残っていますか？

以前あつた女子聖学院の軽井沢の施設では、低学年児童の宿泊行事を行っていました。そこには管理人さんが住んでいらつたのですが、私が初めて参加したと

聖学院小学校

せき こうこ  
関 幸子  
先生

## ●PROFILE

聖学院小学校校長補佐、図工科担当。  
東京学芸大学教育学部卒業。  
公立学校で美術を指導後、聖学院小学校に入職。育児のため一時休職し、公立小学校勤務を経て2004年より再び聖学院に。2020年より現職。

きは児童の人数が少なく、管理人さんや近所の方が食事の準備をしてくれました。その食事がとても美味しくて、子どもたちが残さずきれいに食べたことを覚えていました。

今は実施していませんが、千葉の館山などで実施した臨海学校も思い出深い行事でした。スイカ割りや花火大会、きもだめしなど、子どもたちはとても楽しんでいました。最後には海での遠泳があります。結構な距離を泳ぐのですが、毎年見事に泳ぎきる子どもたちには感心したものです。

— 聖学院小学校の変わらないところを教えてください。

昨年12月のクリスマス礼拝とページェントに何人か卒業生が来てくれたのですが、自分たちの在学中と変わらないページェントに驚いていました。ページェントや礼拝、神様のことを子どもたちに伝えようとす先生たちの気持ち、「隣人を大切にする」人になつてほしいと願うことが、聖小のずっと変わらないところだと思っています。

(取材日/2023年5月)



2年生の宿泊行事「森の学校」は、かつては軽井沢セミナーハウスで行われていました。



新校舎の建築のために、2013年は仮校舎で過ごしました。チャペルがなかったので滝野川教会で礼拝を行いました。現在は仮校舎の跡地にマンションが建っています。

## 聖学院フェア

以前は時間も場所も限定的で、小規模に実施されていたバザーでしたが、『聖学院フェア』として1990年代に拡大され、現在のように学校全体を会場にして子どもたちが1日中遊べるイベントになりました。先生たちも出店するようになり、リアカーに子どもたちを乗せるアトラクションを実施したこともあります。

※ようやく卒業生の皆さんも参加できるようになりました。ぜひ遊びにいらしてください。今年は9月23日(祝)に開催予定です。



# 共に歩む人

「紡ぐ想い」

## ●先生の思い出

聖学院幼稚園

やまもと ようこ  
山本 洋子  
先生

### ●PROFILE

年長ゆり組担任。  
短大卒業後、杉並区の幼稚園に18年勤務。子どもが聖学院幼稚園から聖学院小学校に進学したのを機に聖学院幼稚園に入職。聖学院幼稚園勤務歴23年。趣味は踊ることと、東と西のテーマパークのショー鑑賞。

いつの時代も園児たちが安心して過ごせる場所に

—幼稚園では様々な行事が行われていますが、先生が好きな行事は何ですか？

私は保育参観の園児たちの劇が好きです。何年か前に「ピーターパン」をやったのですが楽しかったですね。それから「おばけのうちはやなぎの木」という劇を演じたことがあります。これもとても面白い内容でした。私は自分で表現して踊ったりするので、あの、テーマパークのショーを鑑賞するのが大好きです。ショーの振り付け、演出、音楽など、いろいろな参考にして園児たちの劇をつくったことがあります。

—今年は3年ぶりにホームカミングが開催されたと聞いています。

聖学院幼稚園では、20歳になった卒園生とその保護者をご招待するホームカミングを実施しています。残念ながらコロナ禍では実施できませんでしたが、今年3月に3年ぶりに開催することができました。今年20歳を迎えた卒園生に、実施できなかった3年間の卒園生を加えて4学年の卒園生が集まりました。卒園から年月

が経っているの、誰か分からなくなってしまった子と、ぱっと見てすぐに分かる子と個人差があります。でもやはり、よく見るとみんな面影が残っていますね。女の子2人に声を掛けられて、「私のこと分かる？」と聞くので「分かるよ〇〇ちゃんですよ。」と言うと「先生、ちっちゃくなっちゃたね。」って。みんなが大きくなっているんですけどね。当日設置した、アルバム

やその学年の思い出の物などを見て懐かしく思ってくれたのか、ホームカミングをきっかけに同級生みんなが集まったと聞きました。これからは今まで通り、毎年開催できたらいなと思っています。

—ずっと変わらない聖学院幼稚園の良さとは何ですか？

園児たちは友だち同士の関わりを通して、自分や友だちを大切にすることを学びます。その環境を整えるため、先生はいつの時代も園児たちが安心して過ごせる場所になりたいと願い、全力を尽くしています。それはずっと変わらないことです。

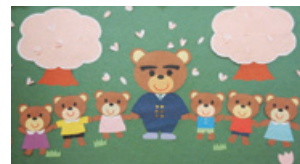
(取材日/2023年5月)



汽車ポッポの遊具の前にて



保護者から贈呈されたメッセージ集。園児たちとの思い出がいっぱい。自宅には20冊以上あります。



中央のクマ先生は佐藤 慎 元園長がモデル。

## 山本先生の宝物

年度の終わりに、担任した園児の写真や絵で作られたメッセージ集が先生たちに贈られます。いずれの年も保護者のみなさんが工夫を凝らして作成された力作揃い。お手紙を朗読してもらって、その文章をカードにしたものをプレゼントされたこともあるとか。それぞれの作品に園児や保護者のみなさんとの思い出が詰まっていて、時々見返しては勇気ももらっているとのこと。山本先生の宝物です。



2011年の震災後、園舎の建て替えが決定。一時的に女子聖学院中高のクローソンホールをお借りしていました。約半年間、女子聖中高の生徒たちにかわいがってもらいました。



徒競走ができるくらい横に広い仮園舎。1年3ヶ月ほどこちらで過ごしました。

「紡ぐ想い」

# 共に歩む人

## ●先生の思い出

聖学院みどり幼稚園

こうだいくえ  
国府田 郁絵  
先生

### ●PROFILE

聖学院みどり幼稚園主幹。2001年3月に聖学院大学を卒業後、聖学院みどり幼稚園に勤務し2022年4月より主幹。保育者や親である大人が、子どもを真ん中に考えながらその育ちを支えていけるよう、日々の生活を大切にしたい保育を目指しています。

人生の最初の3年間を一緒に過ごせる、保育者は豊かな仕事です

—国府田先生に卒業生の小島さんからお手紙が届きました。小島さんの思い出について教えてください。

当時私は新任1年目で、年中に小島さんがいました。彼女は自分の気持ちを言葉にすることがやや、気持ち切り替えていくことが少し苦手なところがありました。手紙に書いてあるトイレトペーパーの芯で大量のバナナを工作する、という遊びを毎日繰り返し様子に困惑したことも覚えています。保育者になりたての私には、先生が引っ張っていくものという気負いがありました。彼女には全く通用しませんでした。あまりにうまくいかなかったので、私はそんな気負いは不要で、その子がどうしたいのか、どう成長していくのかを見て寄り添うことが大切なのではないかと感じるようになりました。新任1年目にそういう感覚を得られたのは彼女との出会いのおかげです。

—保育者の仕事のやりがいはどこにころにありますか？

昨年12月に彼女が受洗した時、幼稚園

としてお祝いのメッセージとプレゼントを贈りました。すると翌日彼女が返事をくれました。卒業後初めてのメッセージです。彼女の在園当時、私はまだ経験が浅かったので、関係を築けていたか不安でした。しかし彼女から「こういうことがありました。こういうふうに覚えていきます」と言ってもらえてとてもうれしかったです。バナナをいっぱい作っていた子がイギリスの大学院に留学するなんて当時から想像もできなかったことです。私たちが関わるのは長くて3年ですが、子どもたちの人生の最初の時期と一緒に過ごせて、保育者というのはとても豊かな仕事だなと思っています。

—最後に卒業生の皆さんに向けてメッセージをお願いします。

いつでも遊びにいらしてください。卒園生がみどり幼稚園の空気を吸って、活力を得て、また社会に戻っていける、そういう場であり続けたいと思っています。

(取材日/2023年5月)



1階階段下、園児の作品の前にて



在園当時の小島さん。誕生会でお母さんと一緒に撮影したものです。



みどり幼稚園恒例のバザー。今年から聖学院大学のヴェリタス祭にブースとして出展することを計画中です。

## 卒業生から国府田先生への手紙 [小島 早恵さん]

少し汗ばむ季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。03年卒で、先生には「はくちょう組」でお世話になりました小島早恵です。早いもので、先生の新卒1年目の年齢をどうに超えてしまいました。先日、部屋を掃除していたらはくちょう組時代の連絡帳を見つけました。その連絡帳のコメント欄を読むと、幼稚園生活が昨日のここのように思い出されます。先生は聖書にも書かれている一人ひとりの賜物を大事にしてくださいと素晴らしい先生だったと思います。自己主張が強く、頑固な性格でトイレトペーパーの芯でバナナを大量に生産して先生を困らせることも多々あったかと思いますが、先生がそれを賜物として生かしていただいたおかげで今の私があると思っています。みどり幼稚園で育むことができた賜物を大事にし続けることができた結果、昨年12月には受洗をしてイエス様の弟子となることができました。また、私生活では今年9月よりイギリスの大学院に留学できることになりました。最後に、先生の記念すべき新卒1年目のクラス園児になれたことを神様に感謝します。先生をはじめみどり幼稚園の教職員の方、園児の方、園児のご家族の上にもいつまでも神様の祝福がありますことをお祈りしております。

「紡ぐ想い」

# 共に歩む人

## ●先生の思い出

聖学院大学

まつもと ゆうこ  
松本 祐子  
先生

### ●PROFILE

聖学院大学人文学部子ども教育学科教授。1993年に女子聖学院短期大学の専任教員に就任して以来、30年上尾キャンパスに勤務。児童文学作家でもあり、『リユーンノールの庭』『魔女は真昼に夢を織る』などの著書がある。

好きなことを見つけて、喜びのある人生を

「ゼミの卒業生からお手紙をいただきました。まずはゼミについて教えてください。」

私の「児童文学」ゼミでは言葉や物語を学びます。句会や読書会、ブックトークや国語の模擬授業などを通して言葉や物語を多角的に考え、全員で活発に議論します。

「松本先生の言葉や姿は、今も私の支えです。」とのこと、うれしい言葉ですね。

学生には楽しいと思うことには意味がある、ということ伝えたいと思っています。そもそも児童文学というのは子どもを楽しませて「生きるって楽しいね」と感じてもらうためにあるのではないのでしょうか。さらに年齢を重ねてからも人生を楽しんでほしい。私自身がそのことを体現し、学生に伝えていけたらと願っています。

「他にも卒業生との思い出があれば教えてください。」

女子聖学院短期大学（※p12参照）（以下、短大）英文科時代から長年担当して

る「英米児童文学」は、多くの学生たちが受講してくれたと思います。また、教員の私にファッションやメイクについて厳しく「指導」してくれた学生もいました。

「短大のお話が出ましたが、聖学院の今でも変わらないところなどはあるでしょうか？」

「人柄の良さ」でしょうか。聖学院はアットホームで、「私の居場所だ」と思えます。

「卒業生との思い出が沢山あるんですね。最後に卒業生へメッセージをお願いします。」

「楽しく生きてほしいですね。享樂的」という意味でなく「生きるのが楽しい」という気持ちで持てたら、本当に幸せだからです。人は同じ環境にいても気持ち次第で幸不幸が分かれると思います。そんな時「好きなことがある」というのは支えになるのではないのでしょうか。小さなことでも、好きなことを見つけて喜びのある人生を送ってもらえたらと思います。

（取材日／2023年5月）



研究室にて



お手紙をくれた卒業生の代からのメッセージカード。今でも松本先生の研究室にきちんと飾られています。



ゼミ生たちとおでかけのアルバム。最近は遠出の旅行は難しくなりましたが、卒業祝いの食事会など企画します。

### 卒業生から松本先生への手紙 [安井 彩乃さん]

教員生活5年目になりますが、今も大学時代がなつかしく思い出されます。私がゼミで「わらぐつの中の神様」の模擬授業を行った時、「先生自身が教材を好きだという事実は、子どもに教える上で大切なことですね」と言ってくださいましたね。また、「学生に分かるように伝えられないのは教師の責任」と言いながら、研究室で熱心に教材研究をされていたことも印象的でした。

松本先生の言葉や姿は、今も私の支えです。不易流行を重んじながら、常に新しい自分でいられるよう、私も努力を続けていきます。

# 共に歩む人

「紡ぐ想い」

## ●先生の思い出

聖学院大学

わたなべ まさと  
**渡辺 正人**  
先生

### ●PROFILE

1991年女子聖学院短期大学国文科奉職開始。その後短大の改組転換に伴い聖学院大学日本文化学科へ移籍。2003年には、大学チャペル建設に伴い遺跡の調査を担当する。その後、2023年3月退職。現在は同大学名誉教授。

## 半世紀の時を経て女子聖学院短期大学の悲願が実現しました

—女子聖学院短期大学（以下短大）の様子を教えてください。

私は91年の4月に短大に着任しました。短大には女子聖学院中高からの進学者も多く、女子聖中高譲りの活気が短大のキャンパスにも溢れていました。授業においても、質問より提案する学生が多かったと記憶しています。短大の敷地には学生寮があり、私の着任時にはもう入居者はいませんでしたが、かつては学生寮にも活気があったそうです。大学の恒例行事のクリスマスパーティーは、大学の恒例行事のクリスマスパーティーはこの学生寮から始まり、短大、大学へと広まってきました。

—チャペル建設とパイプオルガン設置は短大の悲願とかがついています。

2004年に大学チャペルが完成し、今年パイプオルガンが設置されます。これらは短大が起点となっています。創設当時、キャンパスの周りには何もありませんでした。田んぼと川しかなかったと聞いています。礼拝も校舎の中の講堂で行っていました。キリスト教教育の学校というイメージが、思

います。学生もそういうイメージを抱いており、チャペルのある素敵なキャンパスに通いたいという思いがありました。その思いが原動力となり短大設立2年目、寮生を中心にパイプオルガンが入ったチャペル建設のための募金活動が始まりました。その後、短大や大学において何度も建設が計画されましたが、諸事情によりなかなか進みませんでした。卒業式はチャペルでできます。その悲願が今年ようやく実現します。パイプオルガン設置募金には、多くの短大卒業生や関係者からご支援をいただきました。パイプオルガン設置には思いだけではなく短大が大きく関わっています。

—卒業生に向けてのメッセージをお願いします。

聖書の言葉で「一粒の麦、地に落ちて、もし死なずば」という言葉があります。卒業生の思いが今立派に実りました。全ての発端は皆さんです。とても感謝しています。

（取材日／2023年4月）

## 発起人会発足の宣言

（聖学院大学パイプオルガンニュース①※）

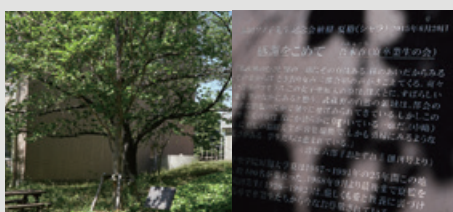
私たちは、昨年11月23日には、女子聖学院短期大学以来の本学院の悲願でありましたチャペルを献堂することができましたことを、神に感謝します。（中略）一致協力のもと、全力を挙げてパイプオルガン設置事業に取り組むこととし、この志の輪である「パイプオルガン設置推進発起人会」にひとりでも多くの人々が加わって下さるよう、それぞれ関係者に呼びかけていくこととします。

※2005年7月23日発行

※女子聖学院短期大学（現在は学生募集を終了しています）

1967年4月設立。1999年3月聖学院大学に改組。 ●英文科／国文科／児童教育学科 女子聖学院短期大学はプロテスタント・キリスト教の伝統にのっとり、堅実にかつ活発に教育、研究活動に進んできました。卒業生は11,500人を超えています。

出典：[https://www.seigakuin.jp/about/episode/epi\\_10/](https://www.seigakuin.jp/about/episode/epi_10/)（出典より一部変更）



学生寮には福田ソノ子先生という寮監がいました。時には厳しかったそうですが、「短大のお母さん」という卒業生も多く、慕われていた様子がうかがえます。8号館の裏には卒業生が植えた福田ソノ子先生の記念樹があります。

学生寮の寮監、福田ソノ子先生の記念樹の前で

# 同窓会紹介

聖学院各校・園の同窓会活動についてご紹介します。

同窓会を通じて、久しぶりに級友とコミュニケーションをとってみませんか？



聖学院小学校

## 聖学院小学校同窓会 「ぶどうの木」

設立 1991年

代表者 勝倉 雄二

<https://primary.seigakuin.ed.jp/category/graduate-news/>

### ●2022年度の主な活動報告

- ・4月9日代議員会開催
- ・6月11日ぶどうの木総会開催
- ・9月23日聖学院フェアへの参加

### ●2023年度の主な活動予定

- ・6月総会開催
- ・9月聖学院フェアへの参加

### ●卒業生へのメッセージ

2022年度は3年ぶりに対面での総会が開催できました。今年度も同窓会活動にご協力をお願いいたします。



女子聖学院中学校・高等学校

## 女子聖学院中学校・ 高等学校「翠耀会」

設立 1918年

代表者 大塚 明子

<https://www.joshiseigakuin.ed.jp/suiyoukai/>

### ●2022年度の主な活動報告

2022年度の行事はコロナ対応が続いたため、学校主催のホームカミングは中止となり、「卒業生と祝うクリスマス」のみ田頭先生をお迎えして実施されました。翠耀会の「総会」「記念祭参加」などはかないませんが、同窓会誌はこのコロナ禍の期間も途切れなく発行、聖書研究会も翠耀会館で続けることができました。また、3月には新入会員歓迎会をチャペルで行い、終了後には恒例のサンドイッチとクッキーをお渡しして75回卒業生のご入会をお祝いし、学年代表さん4名も選出されました。

### ●2023年度の活動予定と 卒業生へのメッセージ

今年度は、学校生活もコロナ前に戻り、翠耀会の活動も4年前に戻りつつあります。6月3日には総会を開催、購買部食堂での飲食も可能となり、在校生の笑顔に力をもらいつつ頑張っております。記念祭も公開で行われる予定ですから、皆様には久しぶりに母校をお訪ねいただき、在校生の諸活動を応援くださいますようお願い申し上げます。



聖学院中学校・高等学校

## 聖学院中学校・ 高等学校同窓会

設立 1926年

代表者 三枝 正和

<https://seig-boys.net/>

### ●2022年度の主な活動報告

長引くコロナ禍のトンネルの出口がようやく見え始めた今年3月末に、3年半ぶりに親睦ゴルフ会を再開しました。

### ●2023年度の活動予定

「同窓会だより」第68号が5月連休明けに発行され卒業生へ送付されました。6月第4土曜日の定時総会、秋には記念祭ホームカミングデーや親睦ゴルフ会、そして年が明け卒業生の成人を祝う会や新入会員歓迎式などを計画しています。



### ●卒業生へのメッセージ

同窓会だより「校長の同窓生訪問」と数年前より連載中の「同窓生のお店！」は必見です。卒業生のユニークな情報や素敵なお店をご存知でしたら、同窓会HPまで投稿ください。母校は3年後に創立120周年を迎え、同時に同窓会も設立100周年になります。





※住所変更等の連絡は、各校・園の同窓会、事務局、  
またはASF事務局までお知らせください。  
ASF事務局：03-3917-8530（月～金 9:00～17:30）  
pr\_h@seigakuin-univ.ac.jp



聖学院広報センターnote公式アカウントで、  
卒業生の紹介記事を配信しています。  
ぜひご覧ください。



聖学院みどり幼稚園

## 聖学院みどり幼稚園 同窓会

設 立 2007年  
代表者 小山 浩史  
<https://midori.seigakuin.ed.jp/>

### ●2022年度の主な活動報告

- ・4月29日につくしの会（小中学生対象）を開催
- ・7月18日に同窓会（高校生以上対象）を開催
- ・10月幼稚園バザー（みどりフェスタ）に同窓会として出展しました。卒園生の父母の方から販売品のご提供があり、学生ボランティアの協力もあって盛況でした。

### ●2023年度の活動予定

- ・4月29日につくしの会開催
- ・7月17日に同窓会開催
- ・幼稚園バザーに出展予定

### ●卒業生へのメッセージ

今年も7月に同窓会を開催します。懐かしいみどり幼稚園にぜひいらしてください。秋のバザーは聖学院大学とのコラボレーションを計画しています。詳細はみどり幼稚園ホームページにてお知らせいたします。



聖学院大学

## 聖学院大学 同窓会

設 立 1993年  
代表者 島田 大輔  
<https://www.seig-dousou.com/>

### ●2022年度の主な活動報告

- ・ヴェリタス祭への参加—3年ぶりの対面開催となったヴェリタス祭において、ホームカミングの場として毎年行っていたカフェを開きました。
- ・同窓会会報誌「CROSS POINT Vol.32」を10月に発行し、同窓会員に送付しました。
- ・同窓会の活動を紹介するリーフレットを作成し、卒業生に配布しました。

### ●2023年度の活動予定

- ・聖学院大学ボランティア・まちづくり活動助成事業への支援—学内で地域連携や地域貢献活動に取り組む学生団体（ボランティア団体）に対し、同窓会が経済的支援を行っています。活動助成にあたっては公開審査会においてプレゼンテーション審査が行われますが、この審査会に審査員として参加します。
- ・11月に行われるヴェリタス祭においてホームカミングを計画しています。
- ・同窓会会報誌「CROSS POINT Vol.33」の発行を計画しています。

### ●卒業生へのメッセージ

大学同窓会は今年設立30周年を迎えます。現在、記念行事の開催に向けて準備中です。詳細は同窓会ホームページをご覧ください。



聖学院幼稚園

## 聖学院幼稚園 同窓会

設 立 1972年  
代表者 本橋 喜久子  
<https://kinder.seigakuin.ed.jp/>

### ●2022年度の主な活動報告

コロナ禍で3年実施できていなかったホームカミングを、20歳になった皆さんと一緒に「4学年合同ホームカミング」として2023年3月21日に開催しました。2005年度・2006年度・2007年度・2008年度の卒園生と保護者の方、旧職員、現職員合わせて90名程が幼稚園に集まりました。再会の喜びと共に、大きくなって自分の道を歩んでいる卒園生の姿や保護者の方との懐かしいお話は、その当時は思い出し心が温かくなりました。欠席の方もメールを下さったり、ホームカミングによって幼い時を思い出したり、友だちと再びつながってもらえたりうれしい時間となりました。

### ●2023年度の活動予定

20歳になった卒園生のホームカミング【2009年度卒園】を2024年3月20日（水・春分の日）に行う予定です。

### ●卒園生へのメッセージ

みなさん、お元気にお過ごしですか。幼稚園の近くに来た時や幼稚園を思い出した時は、ぜひ遊びに来てください。懐かしい場所・懐かしいものに再会してください。いつでもお待ちしております。2009年度卒園のみなさんには2024年1月にホームカミングのお知らせのハガキを送りたいと思います。



Chair's Message

# ご挨拶



学校法人 聖学院  
理事長

小池 茂子

[第2期聖学院ビジョン始動]

守り続けていくものと、

進化していくもの

## PROFILE

青山学院大学大学院文学研究科教育学専攻博士後期課程単位取得済退学(文学修士)。現在、聖学院大学人文学部教授。

2018年度より聖学院大学学長補佐、副学長、人文学部長、大学院文化総合学研究科長を歴任。2023年4月より学校法人聖学院理事長、聖学院大学学長に就任。



中長期計画 (SEIG VISION 2023-2027) の詳細はこちらからご確認いただけます。



## 仕える視座を持ったリーダーを育てる

2023年、学校法人聖学院は、「第2期聖学院ビジョン(2023～2027年度)」を策定いたしました。私どもの法人が目指すビジョンには、変えなければならぬことと時代が変化しても変わってはならないものがあると考えています。変わってはならないもの、それは聖学院の建学の精神「神を仰ぎ人に仕う」を体現した人を育て社会に送り出していくという使命です。

人に仕えるためには確かな知識や技能を持つていなければいけませんし、そのためには時代の変化が求める能力を各人がしっかりと習得していく必要があります。同時に、自分の持っている良さを自己利益のためだけでなく、他者や社会のために喜んで差し出せる人、他者と共に課題解決に当たっていける人間性を持ったリーダーを世に送り出すこと、これが聖学院の教育が目指すゴールです。

私どもの法人の下には、幼稚園から大学・大学院まで、それぞれの学校が特色ある教育を展開しています。が、本学院の特色ともいえるキリスト教に基づく教育には、今日人類が直面している人間の尊厳や人権の問題、多様な背景を持つ人たちと共に生きる社会の実現等、現代社会の課題や自分の生き方を探求する手掛かりがあります。教室の中に留まることのないクラブ活動や社会貢献活動、礼拝を通じた聖書の問いかけが、そこに学ぶ者の自己形成に働きかけ、これを通じて深くものを探求し行動する人間を育てる。ここに聖学院の教育意義があると考えます。

## 地域社会に貢献する

学校法人聖学院の下にある学校は、東京駒込の地で120年の歴史を形づくり、埼玉県の上尾といたま

の地でも半世紀以上の歴史を紡いでまいりました。人間は周囲の者が持つて育つ存在です。駒込の地で、地元の方々に温かく見守られ、時に褒められ、時に叱られることを通じて、園児、児童、生徒たちは育てられてまいりました。彼らの記憶の中には、駒込駅から商店街を通過してそれぞれの学校に通った風景が良き思い出として残つていくはずで

す。埼玉県上尾市といたま市の市境にある大学、みどり幼稚園も地域と共にその歩みを進めてまいりました。みどり幼稚園は聖学院大学のキャンパスに隣接する幼稚園として、また質の高い教育を行う幼稚園として地域の皆様から高い評価をいただいております。大学も周辺の基礎自治体や経済会と包括連携協定を結び、リカレント講座や総合研究所の研究会、大学院など、年齢も職種も異なる社会人が昼夜にわたり来学しています。これからも大学が有している知的、文化的、人的な資源を地域貢献のためにひらき、同時に地域の支援もいたしながら教育研究の向上を目指してまいります。

それぞれの学校が、地域に貢献しながら地域によって支えられていくという良き循環をさらに進め、地域にとつて聖学院の各学校がなくてはならない存在となるよう取り組んでまいります。

## 点検評価の質を高め ビジョンの達成を目指す

聖学院ビジョン第1期を終え、第2期ビジョンでは新たな評価システムを加えることになりました。今回の聖学院ビジョンでは「5つの重点実施項目」を設定し、この指標に基づいて法人及び各学校が2023年度から向こう5年間で取り組む事柄を明確にしました。また、これについて年度ごとに定性的・定量的視点から

点検評価を行い改善につなげてまいります。

5つの重点実施項目の中で最も重視しているのは教育研究の質向上です。これまでも聖学院の教育といえば、キリスト教を通じた人格教育、英語教育、ICT教育、グローバル教育、サステイナブルな社会実現に向けた課題解決型学習やボランティア活動等が高い評価を得てまいりました。聖学院の下にある学校群が特色ある教育を展開していくために、駒込キャンパスには教育デザイン開発センターがあり、同センターのプロジェクトとして、聖学院小学校と女子聖学院中高、聖学院中高の3校連携によるSDGsプログラムなどが実施されました。また、大学には教育開発センターがあり、特色ある全学共通プログラムや初年次教育などのカリキュラム検討開発が行われ、大学IR室(Institutional Research)では、学生たちの生活満足度や学修成果の定量的分析とそれに基づく教育改革といったPDCAサイクルが構築されています。

これからも駒込の教育デザイン開発センターと大学の教育開発センター機能を充実させ、各校が質の高い教育を実現し、その取り組みについて評価も含めた情報公開を行い広く社会の信頼を得てまいります。

少子高齢社会の進展や将来展望を描くことが難しい時代といわれる中で、私どもの学校法人にも課題があります。第2期聖学院ビジョンを掲げ、神さまから与えられた教育という使命を力強く進めて参りたいと考えています。

ご父母のみなさま、卒業生、ご関係の皆様におかれましては、日頃から本法人のもとにある学校をお覚えいただき、多くのご厚意を賜りましたことをここに御礼申し上げます。今後も、本法人の下にある各校が良い教育・研究を進めていくために、「一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 皆様のあたたかいご支援に 心より感謝申し上げます

2022年度 ASF募金総額

## 813件 2億7,787万3,385円

(2023年3月31日現在)

2022年度は、新型コロナウイルス (COVID-19) 感染予防に努めながら、教育活動を進めていく1年となりました。駒込キャンパスでは教育デザイン開発センターが本格的に始動、聖学院中高・女子聖学院中高の生徒による「環境エコプロジェクト」が進められ、3月には聖学院小学校児童も参加して「聖学院SDGs環境デー」が開催されました。大学では、カリキュラム開発を行う「教育開発センター」、持続可能な社会の形成を目指す活動を推進する「サステイナビリティ推進センター」が発足し、新たな教育の取り組みが進められています。

施設設備については、各校ICT教育推進のための施設・設備の充実（無線LAN、AV機器設備更新等）、大学の照明LED化工事やトイレ改修、空調設備の更新工事、女子聖学院パイプオルガンのオーバーホール、みどり幼稚園園舎の中規模改修工事などが実施されました。大学ではチャペルのパイプオルガン設置工事が、聖学院創立120周年にあたる2023年10月の完成を目指して進行中です。その他、聖学院中学校高等学校体育館・中学棟、聖学院大学厚生棟の建築や女子聖学院中学校高等学校体育館大規模修繕については、事業計画について検討しています。

2022年度女子聖学院では、従来の経済的支援のための奨学金に加え、学業成績優秀な生徒の学びを支援するための「バーサ・F・クローソン記念奨学金」の支給を開始しました。

2022年度募金実績報告と寄付者ご芳名については、ASFホームページにてご紹介しています。こちらをご覧ください。



プロジェクト区分	2022年度合計	
	件数	金額 (単位:円)
学校法人聖学院	201	2,229,996
教育および施設設備充実 (大学院)	8	580,000
教育および施設設備充実 (大学)	111	60,882,000
教育および施設設備充実 (聖学院中高)	93	123,483,824
教育および施設設備充実 (女子聖中高)	135	59,651,014
教育および施設設備充実 (幼稚園・小学校)	102	27,868,524
教育および施設設備充実 (みどり幼稚園)	71	872,027
奨学金 (大学)	65	316,000
奨学金 (聖学院中高)	18	1,400,000
奨学金 (女子聖中高)	8	80,000
奨学金 (小学校)	1	510,000
<b>合 計</b>	<b>813</b>	<b>277,873,385</b>

### ASF (オール聖学院フェロースhip) とは

聖学院教育を財政面で支えることを目的として、幼稚園から大学・大学院までオール聖学院の卒業生・保護者・後援会・教職員等によって1988年に設立されました。「神を仰ぎ 人に仕う」キリスト教教育を実践し、社会に貢献できる人材を育てるため、皆様のご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

※各校のプロジェクトにいただいた寄付は該当校の事業に用いさせていただきます。

# 2022年度 実施事業の一部をご紹介します

## 教育および施設設備充実

### 聖学院大学

パイプオルガン建造工事（2023年10月完成予定）  
図書館空調設備更新（第1期） 1号館トイレ改修  
児童学科ピアノ更新  
学生エンカレッジセンター窓口（フィリア）設置



大学チャペルパイプオルガン完成予想図

### 女子聖学院中高

特別教室AV機器更新  
防犯カメラ設置・ネットワーク更新  
パイプオルガンオーバーホール



### 聖学院中高

ガイホールAV機器更新 業務ネットワーク更改  
授業用ノートPC購入



### 聖学院小学校・聖学院幼稚園

教室AVシステム更新  
無線LAN (Wi-Fi) 更新



### 聖学院みどり幼稚園

園舎中規模修繕工事  
園支援システム・バスキャッチ導入

## 奨学金

### 聖学院中高

奨学金として、計14件支給

### 女子聖学院中高

## 将来に備えての積立

- ・大学厚生棟のため
- ・女子聖学院中高体育館のため
- ・聖学院小学校体育館のため
- ・聖学院みどり幼稚園園舎のため
- ・聖学院中高体育館、中学棟校舎のため
- ・各校奨学金基金のため

\\ 卒業生・保護者の方も応募できます! //

## お知らせ 第4回聖学院SDGsコンテスト 開催

学校法人聖学院主催「第4回聖学院SDGsコンテスト」を開催します。このコンテストは、SDGsにつながるモノ・コトを写真や動画に収めて共有する投稿型ソーシャルアクションイベントです。フォト&ムービー部門には、卒業生も含めたすべての聖学院関係者が参加可能です。詳しくは2023年8月以降にオープンする聖学院法人ウェブサイト(<https://www.seig.ac.jp/>)内の特設ページをご覧ください。



プレゼント！

芽が出る鉛筆  
スプラウト®ペンシル

## 学校法人聖学院 創立120周年記念 ASFプレゼント企画

聖学院創立120周年記念オリジナル

# 「芽が出る鉛筆 スプラウト®ペンシル」(非売品)

聖学院創立120周年を記念して、ASF\*にご寄付いただいた方全員にプレゼントします。

※ASF(オール聖学院フェロニッショの略で、聖学院教育を支える後援組織)

プレゼント対象寄付期間 2023年4月1日~2024年3月31日

### 「芽が出る鉛筆 スプラウト®ペンシル」\*とは?

短くなって使えなくなった鉛筆を"捨てる"のではなく土に埋める。すると新たな命に"生まれ変わる"。モノの寿命を増やし、持続可能性の実現を提案するサステナブルなエコフレンドリーアイテムです。

※鉛筆として使えなくなった後、土に植えると植物を育てることができる商品で、デンマークのSprout®社が製造、現在80か国以上で販売されています。

詳しくはコチラ

→ <https://www.retrobank.co.jp/sproutpencil-about>



さらに、年間のご寄付が10万円以上の方には

聖学院オリジナルロゴ入りマイボトル  
(サーモス)

を差し上げます。

### 【ご注意】

- ・対象期間中寄付対象者1名につき1度に限りプレゼントをお贈りします。
- ・「個人」として寄付された方がプレゼントの対象になります。
- ・プレゼントの色やデザインは写真と異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・スプラウト®ペンシルの種類は事務局にお任せください。

### ●寄付のお申込み方法

検索またはこちらのQRコードからも寄付サイトへアクセスできます。

クレジットカードご利用の場合、24時間いつでもお申し込みが可能です。

🔍 聖学院 ASF

検索



学校法人 聖学院

お問い合わせ TEL 03-3917-8530 月~金 (9:00~17:30)

ASF事務局 <https://www.seig.ac.jp/asf/>

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 MAIL:pr\_h@seigakuin-univ.ac.jp

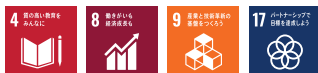


まだまだあります！

# Seig NEWS

学生も生徒も教員も職員も  
次のステップへと  
日々新しい試みをしています。

聖学院大学



## 聖学院大学と埼玉中小企業家同友会 産学連携協定を締結！

4月27日(木)、一般社団法人埼玉中小企業家同友会と産学連携包括協定の締結を行いました。埼玉中小企業家同友会は埼玉県の中企業経営者で組織される団体で、約1000人が会員となっています。この連携協定は聖学院大学と埼玉中小企業家同友会双方が有する様々な資源を共有し双方の強みを発揮することで、生涯学び続ける力を育成するための機会創出と仕組みの構築を目指して締結する運びとなりました。



聖学院大学



## 社会に開かれた教育課程の 実現のために 子ども教育学科が 社会人向けパンフレットを作成

2023年4月、児童学科は子ども教育学科へ名称変更を行いました。そんな子ども教育学科が早速、社会に開かれた教育課程の実現のため「社会人のための履修証明プログラムパンフレット」を作成しました。本プログラムは聖学院大学の卒業生や保護者の方はもちろん、どなたでもご参加いただけます。詳細はぜひパンフレットを一度ご覧ください。



「社会人のための履修証明プログラムパンフレット」はこちらから  
ご覧いただけます

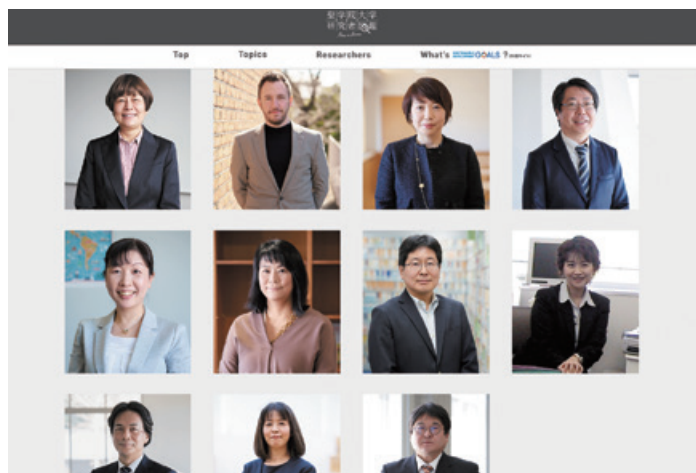
聖学院大学



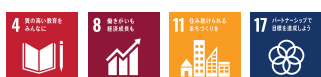
## 教員の研究は社会のリソース 聖学院大学研究者図鑑を アップデート！



「聖学院大学研究者図鑑」サイトをアップデートしました。本サイトでは聖学院大学の教員の研究にクローズアップして、その内容や実績を広く社会に周知しています。聖学院大学の教員がどのような研究をしているのかに注目いただき、そこから新たな地域、企業、行政との連携につながることを期待しています。ぜひ一度ご覧ください。



## 聖学院大学総合研究所



### 包括連携協定の自治体とともに 「基礎自治体若手・中核人材育成プログラム」 今年も始動

5月27日(土)、2023年度第1回「基礎自治体 若手・中核人材育成プログラム」が開催されました。当日は開講セレモニーに続き、自己(自治体)紹介、「地方創生」ワークが行われました。本プログラムは聖学院大学総合研究所基礎自治体マネジメント研究会主催で、包括連携協定を結ぶ自治体の職員を対象に実施され、今年で3年目となります。今後も、聖学院大学は、地域との共生に向けて更なる貢献を目指します。



「地方創生」ワークの様子

## 聖学院大学総合研究所



### 税法研究の研鑽と親睦を深める 第16回埼玉税法研究会を開催

5月20日(土)、第16回埼玉税法研究会が開催されました。主題を「我が国の非居住者税制の解説」とし、埼玉税法研究会会長で聖学院大学大学院政治政策学研究所客員教授の吉川保弘氏に講演いただきました。第1部では源泉徴収業務に携わる方々に必要な国際源泉徴収に関する知識の習得のための講演、第2部では政治政策学研究所院生による修士論文構想報告会が開催され、税法研究の研鑽と親睦を深める時が持たれました。



## 聖学院中学校・高等学校



### オリジナルロボット製作プロジェクト VIVITA ROBOCONに参加

4月2日(日)にTHE CAMPUS(コクヨ株式会社)で開催されたロボットコンテストVIVITA ROBOCONに聖学院中高から中学生を中心に4チーム(中学生3チーム、中高生1チーム)が参加しました。VIVITA ROBOCONは、はじめてものづくりする人が楽しめるロボットコンテストで、自分のアイデアを具現化するオリジナルロボット製作プロジェクトです。聖学院校内で実施されたグローバルイノベーションラボのロボット大会に参加した生徒が今回の全国大会に挑みました。



## 聖学院中学校・高等学校

『全国高校生MY PROJECT AWARD』で  
サポーター特別賞を受賞

探究・プロジェクトに取り組む高校生の学びの祭典『全国高校生MY PROJECT AWARD』でGIC「貧困・起業ゼミ」の大野興毅（高3）さん「滝野川渋沢ごぼう茶の開発」、篠原飛陽（高3）さん「明日福プロジェクト」がサポーター特別賞を受賞しました。全国1,751プロジェクトの応募の中から審査を通過した48のプロジェクトが、3月24日（金）～26日（日）のオンライン「全国Summit」にてプレゼンテーションを実施。12組が受賞をし、2名はその受賞者の一人となりました。



## 女子聖学院中学校・高等学校

東京女子大学説明会に  
約150名の生徒、  
保護者が参加

5月20日（土）、女子聖学院中高（以下、女子聖学院）クローソンホールにて、希望者を対象とした東京女子大学説明会が開催され、約150名の保護者と生徒が参加しました。女子聖学院と東京女子大学は2021年9月に高大連携協定を締結し、交流を続けています。

現在、東京女子大学では15名の女子聖学院卒業生が学んでいます。女子聖学院の卒業生の教員も2名在籍しており、東京女子大学内には卒業生教員を中心に女子聖会がつくられているとのことでした。

説明会には2名の女子聖学院卒業生が登壇し、東京女子大学での学びについて語ってくれました。



## 聖学院小学校



### 運動会が帰ってきました！

5月20日(土)、聖学院小学校の運動会が行われました。今年大きく違う点は、全学年の保護者に来ていただいたことです。これは4年ぶりのことです。校庭には万国旗が張り巡らされ、テントや得点板の設置、にぎやかな音楽が流れる中、子どもたちや多くの保護者が応援をするいつもの聖学院小学校の運動会が帰ってきました。ときおり小雨が降りましたが、天気心配など吹き飛ばすかのような盛り上がりを見せました。徒競走や玉入れなど各学年の競技、大興奮の選抜リレー、そこに応援合戦が華を添え、あっという間の得点発表となりました。結果は今年も赤組が優勝。勝っても負けても、子どもたちのさわやかな笑顔が印象的な運動会の一日となりました。



## 聖学院幼稚園



### 二十歳の再会！ 4年ぶりの同窓会「ホームカミング」



3月21日(火・祝)、4年ぶりにホームカミングを行いました。毎年20歳になった卒園生を迎えて開催していますが、今年はコロナ禍でできなかった3年分を加え、なんと全4学年でのホームカミングとなりました。卒園生の保護者や旧職員、リモート参加の卒園生を含めると、この日これまでで最多の約90名が幼稚園に集まりました。全員で礼拝をささげた後の学年ごとの懇談では、幼稚園で過ごした時間を思いながら、懐かしい話に花が咲きました。聖学院幼稚園は卒園生たちがいつでも帰ってくる事ができる幼稚園です。教職員は在園生を大切に育てながら、卒園していった一人ひとりにも思いを馳せ、それぞれの歩む道が守られるよう祈り、応援しています。



学校法人 聖学院



法人ウェブサイト  
「一貫教育ページ」を新設

5月17日(水)、法人ウェブサイトに「一貫教育ページ」をオープンしました。1月に全面リニューアルした法人ウェブサイトでは、さいたま上尾・駒込両キャンパスの教育連携や聖学院の強み、学校法人聖学院120周年に関する情報などを随時発信しています。今後も皆様の声を反映してさらに充実させていきます。



リニューアル後のトップページ



聖学院みどり幼稚園



ぐうたら村での研修を行いました

4月22日(土)八ヶ岳南麓にある保育者のためのエコカレッジ『ぐうたら村』へ、保育を学びほぐす機会を求めて、研修へ行ってきました。ぐうたら村では、幼稚園の求める学びに合わせた研修をデザインしてまいります。今回のテーマは、「森と暮らしをつなぐ」です。

薪を割りながら、食材を切りながら、火をおこしながら、自分たちの出来事と周りの自然が切り離して考えられない事を知り、森を歩きながら、その営みが私たち人間の命と深く関係していることを感じることができました。

『ぐうたら村』での暮らしや命の営みを丁寧に捉えていくと、小さな子どもたちの心持ちや、彼らが育とうとしている子どもの時間をより身近に考えていける気がしています。そのような機会を幼稚園研修という形で共有できたことは、とても有意義なことでした。



編集後記

聖学院創立120周年記念の『ASF NEWS』として、聖学院で長く教育に携わってこられた先生方のお話をうかがいました。どの先生も教え子の成長と幸せを祈り、聖学院で学んだことをいかして豊かな人生を歩んでほしいと願っておられました。本誌を通して先生方のような思いが少しでも皆様にお届けできれば幸いです。(小)

当号の記事にて、先生へのお手紙をご紹介させていただきました。今後も企画を継続できたらと考えており、卒業生の皆様からの先生への手紙を公募することにいたしました。200~300字程度の短いお手紙を聖学院広報センターまでお送りください。すべてのお手紙をご紹介できない場合がございますが、宛先の先生にはお届けさせていただきます。(萩)



|| 140th Anniversary of the  
Disciples' mission to Japan ||

## 2023年、学校法人聖学院は創立120周年

1903年、現在の文京区本郷の地に誕生した神学校から

聖学院の歩みは始まりました

“神を仰ぎ 人に仕う”

この建学の精神を土台に

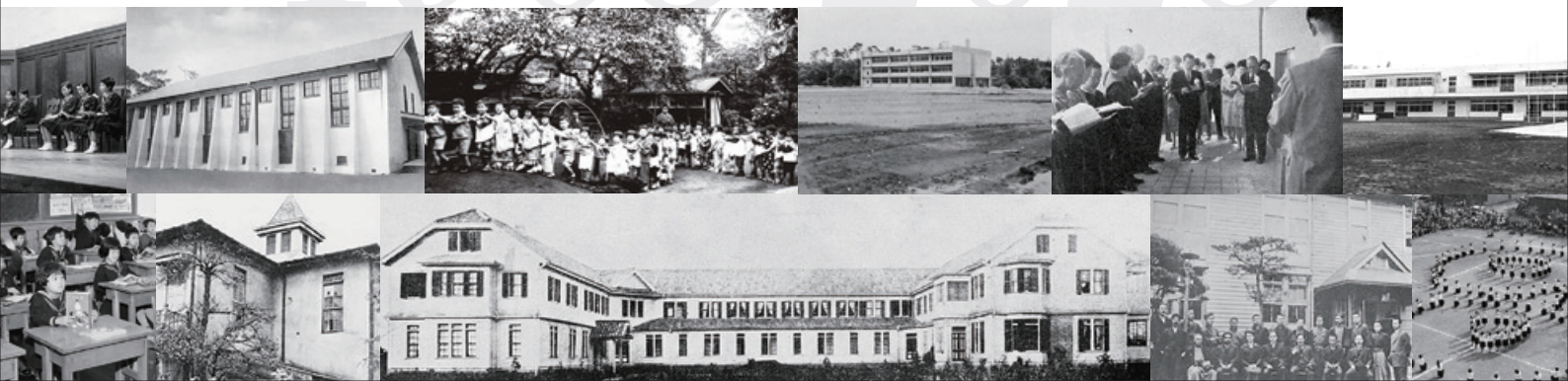
真理を探究すること、神と人間を知ること、社会に貢献することを目指し

「変えることのできるもの」と

「変えることのできないもの」を問いながら

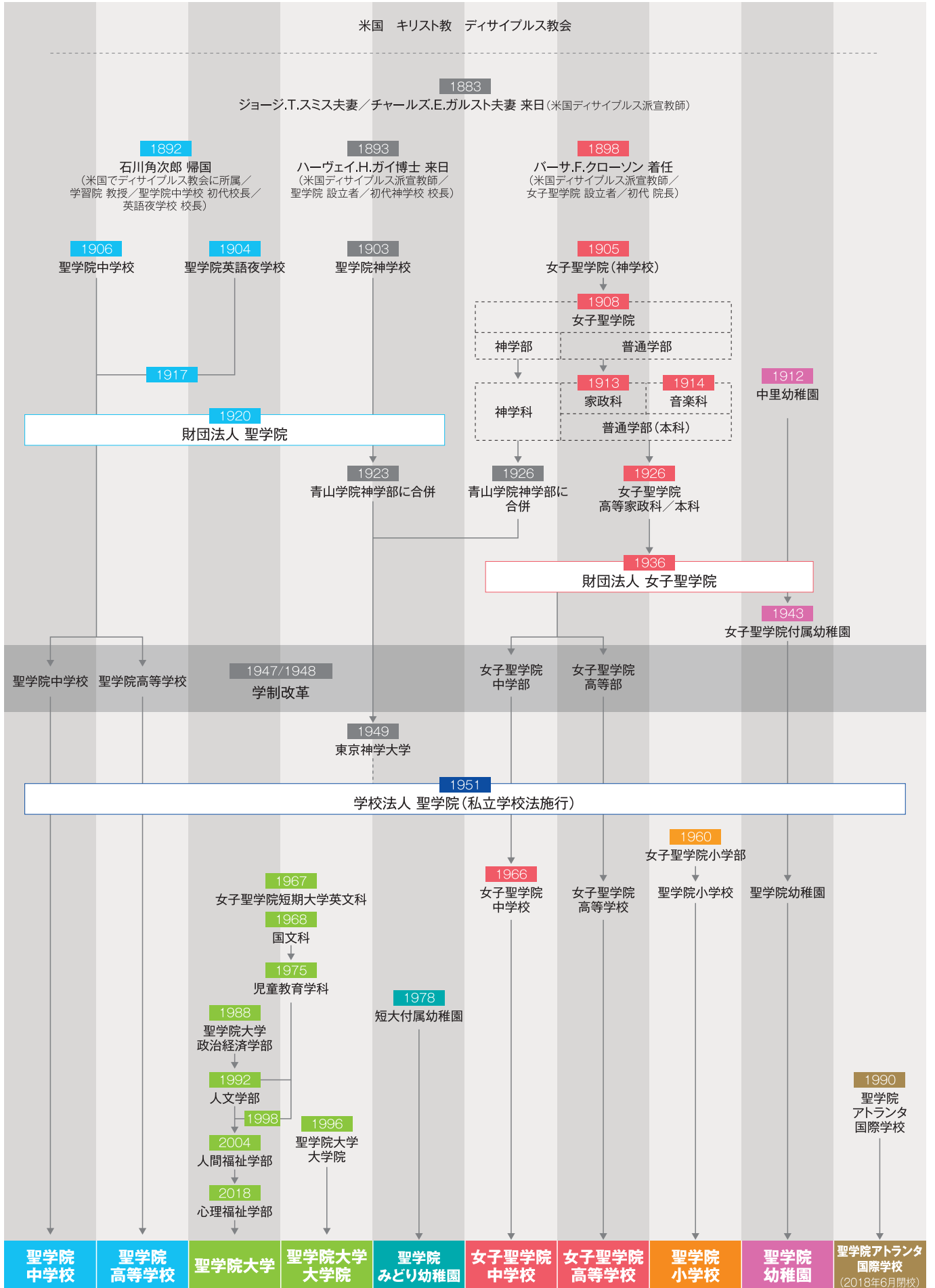
聖学院はこれからも歩み続けます

# 1903-2023



# 聖学院の歴史

## History of Seigakuin University & Schools



聖学院小学校と  
女子聖学院中高の  
制服の仕立て屋さん



# 支える 人たち

聖学院を外から支えてくださっている人たちに  
聖学院への想いをうかがってみました。

No.  
08

株式会社ヨシザワ  
よしざわ ひろき  
吉澤 宏樹 さん

株式会社ヨシザワ 代表取締役 社長。  
学校卒業後大手流通企業を経て、  
1990年入社。ヨシザワは東京都、神  
奈川県、静岡県の私立小中高の制服  
を取り扱う専門店。2年後に創業100  
年を迎える。

伝統は守りつつ新しいことに挑戦していく  
聖学院のアイデンティティが制服にも反映されています

女子聖学院中高の制服は1933年  
からデザインが変わっていません。変  
わらないことで培われてきた伝統があ  
ります。その伝統を90年間、学校とと  
もに守ってきたのがヨシザワです。聖  
学院小学校の制服も手がけるヨシザワ  
の代表取締役社長、吉澤宏樹さんに聖  
学院と制服についてうかがいました。

「学校はそれぞれに特色があり、その  
学校に沿った制服をご用意するのが私  
たちの仕事です。売るための工夫や流  
行を反映するアパレル企業とはその辺  
りが根本的に異なります。制服は入学  
式という晴れの日に着る服です。生徒  
一人ひとりに合わせて一着一着オー  
ダーメイドで作っています。

女子聖学院とは祖父の代からのお付  
き合いです。聖学院は伝統や教育の理  
念というものをきっちり守りなが  
ら、新しいことに挑戦し、取り入れて  
いる印象があります。そのことは制服  
にも反映されています。制服の基本の  
形はずっと変わっていませんが、見た  
目では分からない部分で、新しい技術  
が反映されています。夏服は、着心地  
が涼しく、ご家庭の洗濯機で丸洗いが  
でき、さらに形状記憶が施されていま

す。今はそれらの技術を用いたワン  
ピース型の盛夏服も採用しています。  
冬服も昔に比べると軽い素材になっ  
ています。伝統を守りつつ新しいことに  
挑戦する、制服においてもそれが体現  
できるようお手伝いをしていきたいと  
思っています。

毎週火曜日のお昼休みには女子聖学  
院中高に受付カウンターを設置してい  
ます。制服は作って終わりではなくア  
フターフォローが必要です。着ている  
うちに汚れてくる襟の白線を取り替え  
たり、生徒の成長とともに、袖口の長  
さを調整したりします。それを受け付  
けるためのカウンターです。またカー  
ディガンやネクタイなど制服に付属す  
るものは購買部を通じて販売していま  
す」。

生徒や保護者がお店に足を運ばなく  
ても学校で全て揃う、そこにヨシザワ  
のホスピタリティを感じます。吉澤さ  
んも毎週火曜日に聖学院小学校と女子  
聖学院中高に足を運んでいるそうで  
す。制服にその学校のアイデンティ  
ティが現れているように、吉澤さんの  
仕事にも老舗のアイデンティティが色  
濃く反映されています。

# ASF NEWS

## 賛助広告について

オール聖学院フェローシップ(ASF)とは聖学院と関わりのあるすべての皆様のことを示します。

卒業生、在校生とその保護者、教職員の皆様はもちろん、日頃より聖学院各校の学校運営に様々な形で携わっていただいている企業様、卒業生や保護者が経営される企業様など、すべての皆様が聖学院の仲間(フェローシップ)であると私たちは思っています。

皆様方に支えられて聖学院は120年という長い時を歩んできてきました。

今回も、聖学院フェローシップとして、多くの企業様より賛助広告へのご協賛をいただいております。次ページ以降でご紹介していますので、ぜひご覧ください。

### ASF NEWS

## 賛助広告募集のご案内

ASF NEWSでは、毎号賛助広告を募集しております。企業・団体の皆様には、広告掲載についてご検討いただきますよう、お願い申し上げます。詳しくはASF事務局までお問い合わせください。

#### ●ASF NEWSについて

発行部数 約40,000部 ※発行部数は変動することがあります。

発行予定日 毎年6月中旬～下旬

対象読者 聖学院各校卒業生、在校生保護者、ASF会員、教職員、その他

広告申込先  
(お問い合わせ先)

掲載のお申し込みは、発行予定日の2か月前より受け付けいたします。掲載ペースにより料金が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

学校法人聖学院広報センター ASF事務局

TEL: 03-3917-8530 (平日9:00~17:30)

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 E-mail: pr\_h@seigakuin-univ.ac.jp

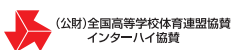
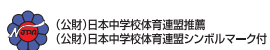


三省堂書店  
BOOKS SANSEIDO



未来に、エールを。

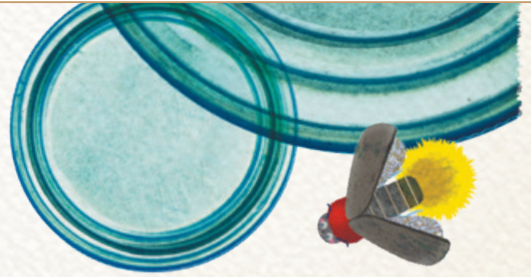
勉強、部活、友情、恋愛。学生生活は色々あって、カラフルだ。  
でもだからこそ、誰も見たことのない色で、ワクワクするような  
未来が描けるんだ。私たちカンコー学生服は、そんな未来を担う  
学生が一番そばで、これからもエールを送り続けます。



東京菅公学生服株式会社

東京菅公学生服株式会社は、カンコー学生服のパートナー企業です。





もっとワクワクする  
未来へ

# WORK WORK

豊かで持続可能な地球を目指して。  
戸田建設は、SDGsの実現に  
積極的に取り組んでいます。



[www.toda.co.jp](http://www.toda.co.jp)

戸田建設株式会社



**TOELL**

pure  
**Hawaiian**  
WATER

Pure Hawaiian Water 320mL PET Bottle

**Bottled in Hawaii**  
TOELL U.S.A. CORPORATION

Pure Hawaiian Water starts as rain filtered through porous volcanic rock for 25 years, collecting in natural Artesian aquifer 200 meters deep within the Ko'olau Mountains. From this pristine source, Pure Hawaiian Water is born.

Toell USA delivers safe and pure water to you that is filtered through reverse osmosis. Enjoy the clear and smooth taste of Pure Hawaiian Water.

**0120-15-7777**

受付時間 9:00~19:00 (日曜日 9:00~17:30) 株式会社トーエル 横浜市港北区高田西1-5-21 東証上場 3361

Pure Hawaiian 320mLペットボトル  
ご購入はこちら



すべては、挑戦から。  
Everything is from a challenge.

**株式会社 森田産業運輸**

東京本社 〒123-0872 東京都足立区江北3-3-22 森田産業ビル 2F  
TEL03-3890-6666(代) FAX03-3854-3333  
埼玉営業所 〒334-0001 埼玉県川口市桜町1-11-37  
TEL048-281-5533 FAX048-281-3444  
川口センター 〒334-0062 埼玉県川口市橋本 242  
TEL048-282-8889 FAX048-282-8890  
五霞営業所 〒306-0313 茨城県猿島郡五霞町元栗崎4700-1  
TEL0280-23-6602 FAX0280-23-6652  
鹿浜センター 〒123-0864 東京都足立区鹿浜6-15-8



グループ会社

Yasu 株式会社ヤスココーポレーション

Km 株式会社ケイ・エム

THS 東京国際ニュースサービス株式会社



上品、シンプル、  
スタイリッシュなデザイン

ポスター／チラシ・DM／ロゴ／web／  
UI／パッケージ 他

株式会社 キュー・ジー

〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-7-26 1104  
phone : 03-5341-4179 <https://qgp.co.jp>

庭師の技が冴えるガーデン

<http://www.obazouen.co.jp>



当社に伝わる伝統・技術・技能を社員一人一人が発揮し  
よりよい仕事をより安くお客様にお届けいたします

株式会社 大場造園

〒168-0064 東京都杉並区永福2-47-12  
TEL 03-3321-8688 FAX 03-3325-5329  
ISO9001・2015認証取得



# FUJIFILM

## Value from Innovation

富士フイルム ビジネス イノベーション株式会社  
 富士フイルム ビジネス イノベーションジャパン株式会社  
 埼玉支社  
 〒330-6028 埼玉県さいたま市中央区新都心11-2  
[fujifilm.com/fb/company/fbj](http://fujifilm.com/fb/company/fbj)

ひとつまみの幸せ。



楽しさの演出に、おつまみを。



株式会社 **なとり** 東京都北区王子5-5-1  
[www.natori.co.jp](http://www.natori.co.jp)

## 練習生募集中!!

※キャンペーン中につき、詳細はお電話でお問い合わせください。

プロ・アマチュアボクサー志望、プロライセンス取得、体力作り・健康維持、ダイエット・シェイプアップ、ストレス・運動不足解消…あなたの目的にあったトレーニングができます!

女性ひとりでも安心☆ 気軽にエクササイズ♪



聖学院を応援しています

金子ジムの金子兄弟は聖学院中学高等学校の卒業生  
 会長の健太郎(右)は73回生、マネージャーの賢司(左)は76回生  
 中央は元世界スーパーフライ級チャンピオン清水智信(現福井県議会議員)



住所/東京都世田谷区北沢1-45-23  
 電話/03-3460-8353

もっと、ここにいたいをあなたへ



おかげさまで創業60年

「もっと、ここにいたい」をあなたへ  
**IZU 伊豆商事株式会社**

タイル・間仕切・空調設備・住宅設備の専門商社

〒130-0023 東京都墨田区立川3-4-6  
 e-mail: [izu\\_info@izus.co.jp](mailto:izu_info@izus.co.jp)  
 Web: <http://www.izus.co.jp/>

営業所案内

東京営業部(広域・城東・大塚・調布)  
 埼玉(草加)・千葉・市原・佐原

聖学院大学教育支援会議 幹事

通信コスト削減、業界初の  
回線管理業務コンサルティングシステム

# 「回線秘書」

特許第4868263号

豊富な経験と実績、高い技術力で  
トータルにサポート

ナースコール 電話設備 ネットワーク  
監視カメラ 施工 保守 コンサルテーション



情報と通信の  
電通工業株式会社

〒140-0011 東京都品川区東大井5-11-2

TEL. 03-5479-3711 (大代表)

<http://www.dentsu.ne.jp/>

# Coca-Cola

コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社 <https://www.ccbji.co.jp>  
COCA-COLA EAST JAPAN Co., Ltd. (コカ・コーラ株式会社) Coca-Cola is a registered trademark of The Coca-Cola Company.

## アウトソーシングで、叶える

文教支援ソリューション

Education support solution

カスタマーサービス  
ソリューション

Customer service  
solution



オフィスソリューション

Office solution

ドキュメントソリューション

Document solution

NEXT ▶ OUTSOURCING



日本アスペクトコア株式会社

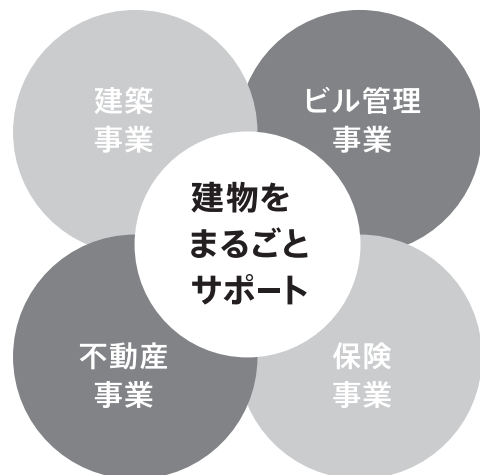
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-3

日本ビルディング九段別館6階

TEL:03-5212-7651 FAX:03-5212-7650



ライフサイクル  
マネジメントで、  
お客様の  
資産価値を  
守ります。



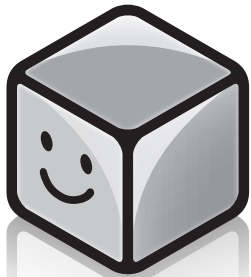
戸田ビルパートナーズ株式会社

代表取締役社長 齋藤 好彦

東京都江東区有明3-4-10 TFTビル西館5階

TEL:03-3527-8211

皆さまに笑顔と豊かさをお届けする  
**“グッドスマイルメディア”**  
 を目指して



つくる、  
 つなぐ、  
 かなえる

**Good Smile Media**

総合印刷・マルチメディア・オンデマンド印刷・広告代理業

**望月印刷株式会社**

望月印刷

検索

〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥 5-8-36 TEL.048-840-2112



私たちは、「現場力」と「提案力」にこだわり、  
 お客様に「安全・安心」と「快適」を提供してまいります。  
 そして、お客様が働き、学び、集い、住まう建物の  
 身近にあって、最良のパートナーであり続ける事  
 を目指します。

あしたを、つなぐ — 野村不動産グループ

**野村不動産パートナーズ**

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号  
 新宿野村ビル8階

教育施設事業一部 TEL 03(3345)0672  
<http://www.nomura-pt.co.jp>

教育備品総合商社

**ヤマ産業株式会社**

学びの場づくりの一翼をになって、  
 教育現場からのきびしい要求にお応えします。

- スチール・木製家具
- 各種特別教室
- 黒板・スクリーン
- 学校用品
- 室内装飾
- 図書館設備
- 視聴覚設備
- OA事務機器



〒112-0015  
 東京都文京区目白台3-26-8  
 TEL : 03 (3941) 7258  
 FAX : 03 (3943) 3826

あなたと創る豊かな環境

## 石山商工株式会社

〒360-0024 埼玉県熊谷市問屋町2-4-18 ソシオ熊谷情報センタービル6階  
TEL 048-524-5581 FAX 048-524-0102  
<https://www.ishiyama-s.co.jp/>

「温かくおいしく安全な給食を」

## 株式会社アイコーメディカル

〒485-0803 愛知県小牧市高根1-200 TEL 0120-332-354(フリーダイヤル)  
<https://www.aiko-medical.co.jp>

廃棄物を生かすカー白井グループ

## 白井エコセンター株式会社

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2丁目10番14号 ばんだいビル3階  
TEL 03-3897-1327 FAX 03-3857-0237  
<https://www.shirai-g.co.jp>

## 株式会社伊藤園

〒337-0008 埼玉県さいたま市見沼区春岡3-20-4  
TEL 048-687-8661 FAX 048-682-3722  
<https://www.itoen.co.jp/>

## 有限会社日東クリーンベスト

〒114-0002 東京都北区王子5-23-16-101  
TEL 03-5390-2310 FAX 03-5390-2309

## 日勝スポーツ工業株式会社

〒154-0005 東京都世田谷区三宿2-36-9  
TEL 03-6805-2106 FAX 03-3410-7314  
<http://www.nissho-sports.com/>

室内装飾

## 株式会社 フタバ アイディ

〒116-0012 東京都荒川区東尾久1丁目22番5号  
TEL 03-3809-5505 FAX 03-3893-9530

## 株式会社NON

〒114-0002 東京都北区王子2-22-7-6F  
TEL 03-6903-3040 FAX 03-6903-3041  
<https://www.non-co.com/>

## 株式会社防災整美

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町6-5岩清日本橋ビル7F  
TEL 03-5695-1781 FAX 03-5695-1785

Protection Technology Service

## 株式会社プロテックス

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー15F  
TEL 03-5464-5281 FAX 03-6450-6280  
E-mail [shibuya@protecs-kk.jp](mailto:shibuya@protecs-kk.jp)

聖学院小学校 女子聖学院 制服指定店

## 株式会社ヨシザワ

〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目4-15 八重洲通ビルヂング 9F  
TEL 03-3271-4996 FAX 03-3281-8331  
<http://www.yoshizawa-uni.co.jp>

おかげさまで5周年

## RESTAURANT YAMAUCHI GINZA

〒104-0061 東京都中央区銀座7-4-5 銀座745ビル 8F  
TEL 03-5537-6699  
<https://ginza-yamauchi.jp/>

## ASF NEWS 広告掲載にあたってのご案内

賛助広告を募集しております。詳細はお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

## 学校法人聖学院 広報センター

〒114-8574 東京都北区中里3-12-2  
Tel 03-3917-8530 Fax 03-5907-7034 E-mail [pr\\_h@seigakuin-univ.ac.jp](mailto:pr_h@seigakuin-univ.ac.jp)



# WO ダブルオー SERIES

原点から、頂点へ。

ヤナギサワサクソフオーンWOシリーズ

製造元

柳澤管楽器株式会社  
<https://www.yanagisawasax.co.jp/>

YANAGISAWA SAXOPHONES WO SERIES

# 聖学院歴史探訪

## #21 聖学院教育 の歴史

- 聖学院の創設と発展  
女子聖学院 1 -



パーサー・F・クロソン<sup>※1</sup>

女子聖学院もまた、伝道者養成を目的とする神学部<sup>カトリック</sup>の設立をもってその歩みを開始いたしました。1905（明治38）年のことです。創立者はパーサー・F・クロソンという宣教師の方です。パーサー・クロソンは1898年に初めて来日し、秋田や大阪で伝道していましたが、アメリカ本部の意向で日本の女子教育にたずさわることになったのです。東京築地にある宣教師館を借りて、11月1日に開校式をいたしました。

（中略）

クロソンの教育方針は、文字通り生徒に「使命」を吹き込むものでした。

「聖別せられた姉妹たち、前に申上げたようにあなた方々には神様より堅き使命が興へられております。この使命を果すことを恥ないよう、キリストのために善き言葉を宣べ傳へる事を恐れないように御すめ申します。神さまの御前に於ては一人の霊が如何に貴きかを覚へ、未だ救はれない多くの霊のある事を悟り各々に大なる責任ある事を知り、『行きて萬国の民に福音を宣べ傳へよ』との主の御命令に服従し、各々に興へられたる使命を果すために全身全霊全力を盡して働きたいもので御座います」（婦人新報185号、大正元年11月）。

（次号に続く）

出典：聖学院キリスト教センター編「聖学院の精神と歴史」聖学院ゼネラル・サービス、2006年版（出典より一部変更）

※1イラスト制作：株式会社ジャパンシステムアート

## 学校法人 聖学院

理事長／小池 茂子 院長／山口 博  
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-8351  
ホームページ <https://www.seig.ac.jp/> E-mail [pr\\_h@seigakuin-univ.ac.jp](mailto:pr_h@seigakuin-univ.ac.jp)

### ■さいたま上尾キャンパス

#### 聖学院大学

・政治経済学部／政治経済学科  
・人文学部／欧米文化学科 日本文化学科 子ども教育学科  
・心理福祉学部／心理福祉学科  
学長／小池 茂子 創立／1988年 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 Tel 048-781-0925

#### 聖学院大学大学院

政治政策学研究科／文化総合学研究科／心理福祉学研究科  
創立／1996年 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 Tel 048-780-1801

#### 聖学院みどり幼稚園

園長／赤田 直樹 創立／1978年  
〒331-0045 埼玉県さいたま市西区内野本郷820 Tel 048-622-3864

### ■駒込キャンパス

#### 聖学院 中学校 高等学校

校長／伊藤 大輔 創立／1906年  
〒114-8502 東京都北区中里3-12-1 Tel 03-3917-1121

#### 女子聖学院 中学校 高等学校

校長／安藤 守 創立／1905年  
〒114-8574 東京都北区中里3-12-2 Tel 03-3917-2277

#### 聖学院小学校

校長／佐藤 慎 創立／1960年  
〒114-8574 東京都北区中里3-13-1 Tel 03-3917-1555

#### 聖学院幼稚園

園長／田村 一秋 創立／1912年  
〒114-8574 東京都北区中里3-13-2 Tel 03-3917-2725

### ●インターネットでの寄付のお申し込みについて

クレジットカード（VISA、MasterCard等）をお持ちの方は、お申し込みから入金までご自宅等で、PC、スマートフォン、携帯電話からインターネットによるお手続きができます。下記URL、QRコードにアクセス下さい。

<https://www.seig.ac.jp/asf/>



### 住所変更・広報誌の発送停止・お問い合わせ

<https://www.seig.ac.jp/asf/contact/>

学校法人聖学院ASF事務局

Tel 03-3917-8530（月～金 9:00～17:30）

